

## (1) 目的

本県児童生徒の学力向上を図るため、小学校および中学校について、学級経営全般の充実をはかり、学力向上の実をあげる推進校を指定し、その資料を当該所属管内の各学校に普及活用させる。

## (2) 指定校の運営

指定校は前記目的達成をはかるために、次の事項を基本として運営する。

- ① 過去における学力向上推進校の研究成果をじゅうぶん取り入れ効果的・能率的運営をすすめる。
- ② 学校経営全般にわたって診断をおこない、問題上のは握と、その改善充実につとめ、その中で学力向上の実をあげるよう運営する。
- ③ 研究成果は当該管内各学校に対して資料として配布するが、第1年次は校内研究を主体とし、中間発表会等の公開は行なわない。
- ④ 研究計画をたてるにあたっては、学校の実情、児童の実態をよくは握する。

## (3) 共通研究主題

教科の本質に基づき、児童・生徒の主体的学習態度を確立させるために、授業の体質をどう改善すればよいか。

この共通研究主題を解決するために、研究教科を設定（学校規模等の実情に応じ、また、要項に準ずる）し、それに即した具体的な課題を設定する。

なお、この計画にあたっては、とくに次のことに留意する。

- ① 教材研究を深める。
- ② 学習指導の改善をする。
- ③ 学校経営、学級経営の検討とその改善をはかる。

## (4) 指定校および研究概要

### ① 伊達郡川俣町立川俣中学校

ア. 校長 松井 孟 始

イ. 研究主題 「生徒の研究心をいっそう高めるための指導」

ウ. 成果

現在の中学校における学習指導は、一般に講義式授業が多く、生徒自らの主体性・自発性にとぼしいので、物事そのものの研究を自らの問題としてもち、それを調べ、その中において学ぶ態度を育成するように努めた。

そのためには、生徒会・学級活動などにおいても、主体的な活動が要請されるので、学校経営全体について検討を加え、指導の時間確保や運営をくふうした。

- ㊦ 従来の授業の反省と、自発性を高めるための指導過程の理論的研究を進めてきた。
- ㊧ 小集団学習の指導と、終末の段階における価値転換と変容のたしかめ、および主体的態度育成のための予習の課題設定のし方の研究をし、実証の段階にはいつている。
- ㊨ 研究心をのばす授業を志向して、授業の体質改善が試みられ、成果があがってきている。
- ㊩ 本校研究主題に対する各教科の特質に応じたせまり方の研究について共通理解を図った。

㊦ 自発的学習意欲を促進するような教科教室経営のくふうを試みた。

㊧ 生徒会中心に日常生活および学習態度の自主規制活動の促進を図った。

### ② 伊達郡国見町立県北中学校

ア. 校長 小野 鶴 雄

イ. 研究主題 「教科の本質に基づき、児童生徒の主体的学習態度を確立させるために、授業の体質をどう改善すればよいか。

ウ. 成果

教科をできるだけ多くとりあげそれぞれに適したテーマを設定し、調和のとれた学校経営をめざして進められたため、各教師が共通意識のもとに研究を深めていくことができた。特殊教育（精薄学級）についても個性を育てる指導のありかたというテーマを設定し技術・家庭科の授業をととしてその実績をあげている。

㊦ 全教科全領域、特殊教育にわたりそれぞれの主体的な学習のありかた、たしかめのしかたなどの理論と実践の研究が深まってきた。

㊧ 研究授業は全教員、学級を対象にして行なったが校内における研究意欲がたかまった。

㊨ 研究方法としては、教材の研究、授業案の作成、指導技術（授業実施）に集中したので効果的であった。

㊩ 特に学習の方法訓練面では、・学習の準備、学習の姿勢、・話し合いや発表、応答のしかた、・教科、教材に即した学習のしかた、・ノート整理のしかたなどがややよくなった。

㊪ 他校との交歓研究等を実施し、自校の研究公開と今後の反省をするための資料としている点は、この学校の研究の特色ともいえる。

㊫ 時間配分、授業時間の内容と強化のしかたが深まった。

### ③ 校名 安達郡本宮町立本宮小学校

ア. 校長 菊田 武 雄

イ. 研究主題 「児童の思考力を高め、ゆたかにする学習指導法の研究」

ウ. 成果

授業の体質改善をめざし、児童の思考力をたかめ、ゆたかにする学習指導法の研究を進め、かつ児童が主体的に学習する態度を育ててきた。対象教科は、主として社会科・理科・図工科としたが他教科へもその研究の転移をはかってきた。その成果はつぎのとおり。

（第1年度）

- ㊦ 学習教材の研究が深くなり、教材を精選し学習活動の過程とすじ道がよくたてられ、学習の効率をたかめた。
- ㊧ 学習目標の明確化から学習内容が重点的におさえられ、さらに児童の思考をたかめるための発問に留意して、学習内容の深まりと確実さが見られるようになった。
- ㊨ 学習過程において、児童の既有経験や知識を重視して問題を認知し、思考活動を促進し深め、関係は